

#### 4. オンネトー地区道路環境保全会議について

## オンネットー地区道路環境保全会議<sup>\*</sup>ができる背景

\* 以下、保全会議とする

1. ワークショップで説明された道路設計の法面植生について、外来植物の侵入防止対策が課題とされた。
2. 平成30年、令和1年に外来種調査が行われ、この結果をもとに有識者の助言などにより駆除対象種の絞り込みと駆除方法について説明がされた。
3. この駆除を誰が行うか？住民協働により行うことの検討が始まる。

## 保全会議発足までの経緯

R3 6月3日：新団体設立に向けた関係者による打ち合わせ

内容：新団体設立趣旨のほか、  
団体参加募集日程などについて  
意見交換。

R3 6月30日：参加募集案内の発送

R3 7月21日：保全会議参加者へ第1回準備会の  
開催案内発送



## 保全会議発足までの経緯

### 参加団体

### R3 7月27日:第1回準備会開催

#### 内容:

- ・新団体について  
(設立趣旨・規約について説明)
- ・モアショロ道路計画について  
(活動地区、事業等の経過など)
- ・意見交換  
(規約やワークショップとの違い  
などについて説明)
- ・オンネットー現地視察  
(外来種の駆除試験箇所)

	団体名	参加者氏名
1	日本野鳥の会十勝支部	副支部長 尾崎 高博
2	川と河畔林を考える会	代表 高倉 裕一
3	NPO法人 十勝多自然ネット	理事 坂入 隆
4	浦幌野鳥倶楽部	代表 武藤 満雄
5	十勝川中流部市民協働会議	事務局員 橋本 聡
6	帯広ウチダザリガニ・バスターズ	代表 鏡 坦
7	雌阿寒自然塾	事務局長 岩原 榮
8	足寄山友会	代表 田村 勝夫
9	NPO法人あしよろ観光協会	代表 山下 昇



足寄町町民センター



アメリカオニアザミの刈り取り



刈り取った株

## モアショロワークショップと保全会議の目的と流れ

### 1. 目的

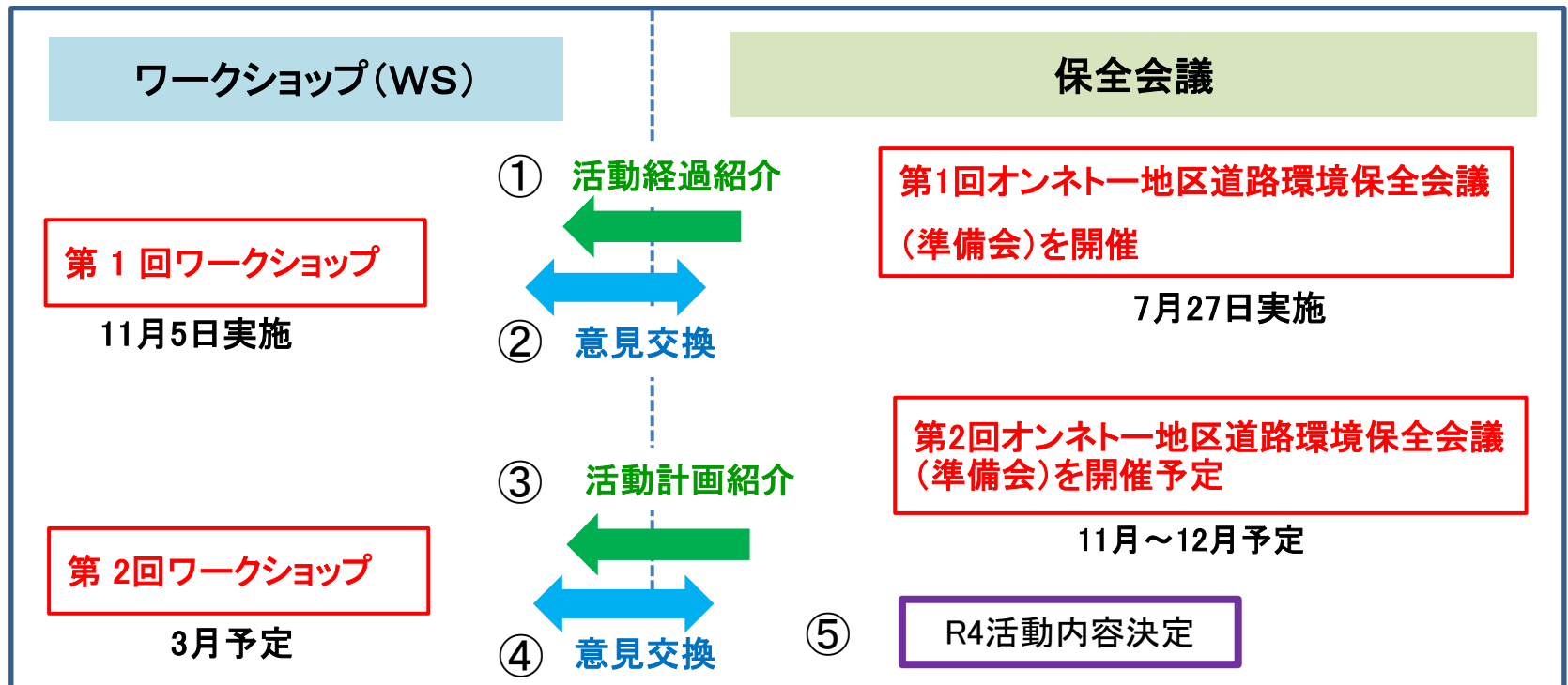
#### ・モアショロ原野螺湾足寄停車場線ワークショップ

モアショロ原野螺湾足寄停車場線に伴う環境保全の計画を作成することを目的とする。

#### ・オンネット一地区道路環境保全会議

モアショロ原野螺湾足寄停車場線の工事進行に伴う環境改変に対し、その保全と再生、調整を目的に行動することを目的とする。

### 2. 流れ



## 今後について

### 1. 当面の活動案(R4年度)

1. 外来種駆除試験  
今年度の試験に引き続き、保全会議メンバーが中心となって継続する。
2. 自然観察  
一般募集も含めてオンネット一地区の環境価値の再確認を行い、価値創造へとつなげる。また、地質、化石等も対象とする。
3. 足寄町立螺湾小学校との連携
4. 北海道足寄高等学校との連携

・上記3, 4は岩原氏が調整。今年度内に翌年度以降の可能性を明確にしたい。

### 2. 工事に伴う活動案

・上記の活動案に加えて、工事着手以降は受注施工業者にも参加していただき、PDCAサイクルで確認し合う。(Plan=計画、Do=実施、Check=監視、Act=改善)

1. 着手時  
・工事施工計画の内、周辺環境に関係する部分の意見交換を行い、保全会議から要請と確認を行う。
2. 工事施工時  
・保全会議から視察と意見交換を行う。
3. 工事終了時  
・翌年度の工事に向けて総括し、反省点などを確認する。